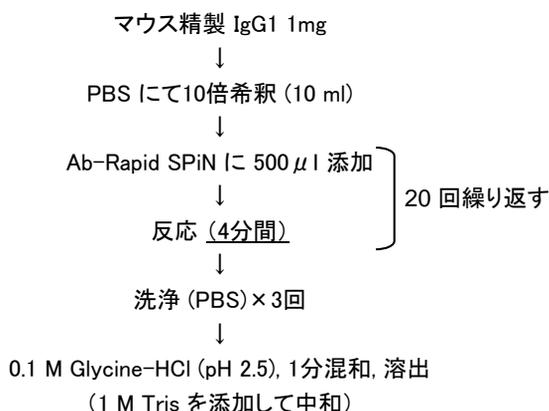


Ab-Rapid SPiN™ を用いた 低濃度IgGの繰返し添加による精製

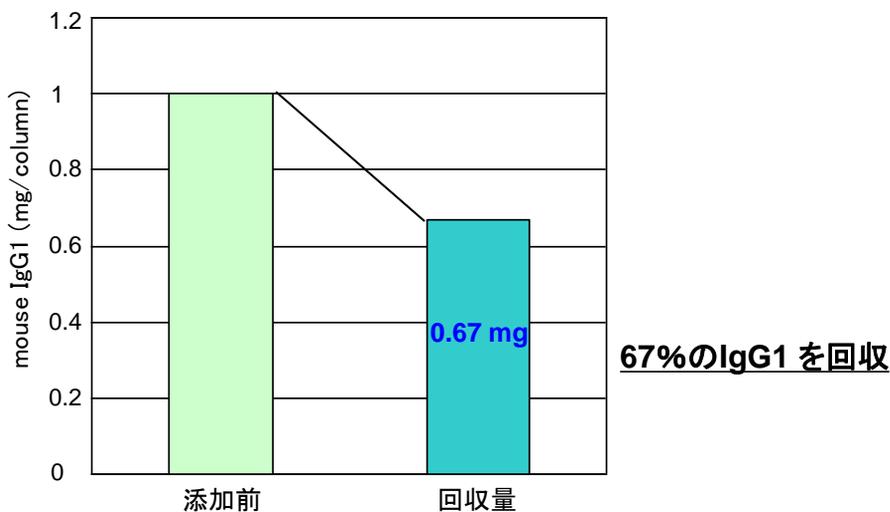
操作の流れ

所要時間: 95分

標準法



モノクローナルIgG1 回収量



マウスモノクローナルIgG1 を100μg/ml の濃度に調製し、細胞培養上清などの低濃度IgGサンプルとしてAb-Rapid SPiNで精製を試みた。Ab-Rapid SPiN カラムへ500μl サンプルを20回繰り返して添加し、洗浄後に溶出した。その結果、マウスIgG1の1 mgを含む10 ml 溶液から0.67 mg のマウス IgG1 を回収することができた。このことより、低濃度IgG サンプルであっても添加の回数を増やすことで濃縮・精製できることがわかった。

プロテノバ株式会社

〒769-2604

香川県東かがわ市西村1488番地1

TEL 0879-49-0702 / FAX 0879-49-0703

ホームページ <http://protenova.com>